

銀行名	大分銀行
タイトル	取引先の海外販路拡大をサポート
取組み内容	【動機（経緯）】 A社はこんにゃく製品製造・販売業者で、国産のこんにゃく芋を使用した高級製品路線で一定のシェアを持っている中小事業者。 中国産輸入こんにゃく製品の販売も手がけているが、国内の少子高齢化をにらみ、新規事業として健康志向の高まりがある欧州への販路拡大を模索していた。 【取組内容】 当社はフランスで開催される展示会のジェトロ（日本貿易振興機構）ブースに出展する方針を固め、輸出の経験がないことから当行へ相談があった。 輸出代金の決済方法等のアドバイスをする中で、展示会での通訳や商談時に使用するパンフレット等の翻訳ニーズがある事が判明。当行の海外ビジネスサポートに興味を持たれ、有償契約の上当行サポートを利用していただけの事になった。 当行の外国籍行員が、国内にてホームページやパンフレット翻訳業務を請け負い、現地へ同行して商談時通訳を実施。帰国後も外国企業からのメール翻訳、物流・資金決済面、為替リスクヘッジ等のアドバイスを行った。 展示会で商談したフランス企業2社とのビジネスが結実し、輸出取引を開始した。今後は欧州での現地生産等も視野に入れ、海外への販路拡大を広げようとしている。 【取引先にとっての効果】 輸出にあたり、国際食品安全イニシアチブが制定したベンチマーク承認企画である「FSSC22000」を取得し、国内新規取引先開拓も進めている。 フランス企業への輸出取引は年間10百万円程度で、当社売上の5%程度であり大きな比率を占めるまでには至っていない。しかし、フランス・イタリア等で肥満対策として、こんにゃく製品の認知度は徐々にではあるが高まり、今後の販売拡大が期待される。2016年10月フランス・パリ開催の大規模展示会への出展を予定しており輸出には引き続き力を入れていく方針で、当行のサポートを期待している。 海外販路拡大により、当社業績安定にある程度のメドが立ったため、当社では雇用を拡大して地域活性化に貢献しており、当行の取組みはその一助となっているものと思料する。

銀行名	大分銀行
タイトル	大学・地公体と連携した地域活性化、取引先支援施策
取組み内容	【経緯】 ・大分県内A市にある当行B支店が、お取引先のフグ料理店Cの代表者から「海外にフグ料理のおいしさをアピールしたい」との相談を受けた。 ・上記ニーズに対応するため、自治体と地元大学の留学生、当行お取引先を活用した企画について検討を開始した。 【内容】 ・当行と包括連携協定を締結している地元D大学の留学生20名を、同じく連携協定を締結しているA市へ招聘し、「食」や「観光」を直接楽しんでもらうことでA市の魅力を感じてもらうとともに、SNSを通じて母国の家族や友人に情報発信することで、インバウンドを通じた地域活性化に繋がるモニタリングツアーを企画した。 ・本企画はA市と当行の共同企画であり、ツアーバスの調達と周遊する観光地の選定はA市、フグ料理店Cはじめ食材提供先や視察先の選定は当行が行ったもので、ツアー当日は当行外国籍行員による通訳サポート、各種メディアによる取材も受け、包括連携協定に基づく施策として地域や大学に貢献するとともに、当行の存在感を高めることができた。 【お取引先にとっての効果】 ・フグ料理店Cをはじめ、海産物や鮮魚を提供いただいた地元企業（3社） 更には視察で周遊した真珠養殖業者にとっては、外国人の反応を直接ヒヤリングできたことから、将来のインバウンドや、海産物・真珠の輸出に繋がる情報を入手することができた。



佐伯の魅力・味力体験ツアー 2月8日(月)日帰り

【大分県佐伯市】

九州で一番広い面積を持つ佐伯市。「佐伯の殿様、浦でもつ」と云われる通り、海の幸が豊富で「佐伯寿司」や「伊勢えび」なども有名です。また、昔ながらの風情が残る場所も沢山残っていて、魅力あふれるまちです。今回は、その一部を皆様にご紹介したいと思います。

8:45	(集合)立命館アジア太平洋大学
9:00	(出発)立命館アジア太平洋大学 ※東九州自動車道経由
10:50	歴史と文学のみち ～散策～
12:10	昼食 ～柳井商店～ ※ふぐコース、ブリ寿司、干物
14:10	豊後二見ヶ浦 ～見学～
14:40	(有)オーハタパール ～見学～
15:10	さいき海の市場O ～買い物～
17:10	(解散)立命館アジア太平洋大学

◆参加条件／

SNSを活用して、最低2回以上母国や友人に向けて情報発信する事。発信したものを後日アンケートと一緒に提出する事。

◆対象者／

今回は海外向けの情報発信が主の目的であるため、国際学生のみとさせていただきます。

◆言語対応／英語、韓国語、日本語

◆参加募集人数／20名

※応募多数の場合、お断りする可能性もございます。予めご了承ください。

◆その他／

マイクロバス(定員27名 内補助席6名)での移動となります。

防寒対策、薬等の準備は各自で行ってください。

食事は「昼食」のみです。

天候により行程に変更が生じる場合がございます。

銀行名	大分銀行
タイトル	観光アプリ「大分めぐりん」を活用した地域の面的な観光支援施策
取り組み内容	【経緯】 ・大分県内を中心とした当行の営業店網を活用して収集した「観光情報」を、来県する観光客等に提供することにより、交流人口の増加や観光関連の取引先等のビジネス拡大に寄与することを目的として本アプリをリリースした。 【内容・効果】 ・当行の店舗網を活用し、お取引先や地公体・観光協会等より収集した大分県の観光名所、宿泊、飲食、イベント等の観光情報を一元管理し、本アプリを通じて大分県内を訪れる観光客等に提供している。 ・アプリの活用事例としては、営業店を通して、地域のイベントの主催者と連携し、本アプリを当該イベントの「情報発信ツール」として活用（イベント開催時のまちあるきマップの掲載等）するといった取り組みを行った。その結果、主催者より感謝の言葉と今後もアプリを地域活性化に活用したいとの意見を頂いており、地域において当行の存在感を高めることができた。 以上

大分 めぐりん

大分めぐりんは、大分銀行の行員が集めた大分県の観光名所、宿泊、飲食、イベントなどの情報を発信し、みなさまの旅をお手伝いするアプリです。

ダウンロードはこちらから



アイコン イメージ



大分めぐりんの主な機能

リスト検索

アプリに登録された観光情報が一覧で表示されます。距離順、更新順、タイトル順で並び替えることができます。

周辺検索

現在地からアプリに登録された観光情報を地図上で確認することができます。

モデルコース

おすすめのモデルコースを見ることができます。

AR (かざして探す)

スマートフォンのカメラをかざした方向にある観光情報が、画面上に吹き出しで表示されます。

旅の軌跡

辿ったルートをタイムラインで記録することができます。途中で撮影した写真等も記録することができます。

お気に入り

お気に入りの観光情報の登録と、閲覧履歴を見ることができます。

銀行名	大分銀行
タイトル	飲食店の創業案件に対する支援
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ A氏は大分市内にて飲食店の開業を計画。大分市出身であるが永年宮崎にて勤務（同業飲食店の店長等）していたこともあり大分の情報に乏しく、大分県生活衛生営業指導センターを通じて資金対応を含めて当行に相談があったもの。 【取組内容】 ・ 資金については、お客さまのニーズにあわせて、当行、日本政策金融公庫の協調により対応。当行分については、資金使途にあわせて当座貸越の導入提案を行った。 ・ 設備についてはリース案件のニーズがあったため、当行関連会社の大分リースの紹介を行い成約につながった。 ・ その他経営相談については、開業準備等に対してアドバイスをする中でホームページの作成ニーズがあることが判明、関係機関（大分IT経営推進センター）の紹介し開業までに作成を行った。 ・ また、A氏には地元食材の利用（地産地消）ニーズがあったため、当行営業店のネットワークにより、食材仕入のビジネスマッチングを行った。 【取引先にとっての効果】 ・ A氏にとっては、出身地での開業で経営に関しても経験者であったが、手持ちの情報が少なかったため、資金対応を含め当行のネットワークを使うことで、情報不足を補うことができた。 ・ また、最終的には地元食材による商品提供を考えており、引き続き当行のサポートを期待している。 以上

銀行名	大分銀行
タイトル	金融教育への取組み：「親子で金融経済を学べるセミナー」
取組み内容	【経緯】 (1) 投資信託取引先である三井住友アセットマネジメントより本企画の紹介があり、<u>地域密着化における金融リテラシー活動の一環</u>として、金融ゲーム、セミナーを通じて親子で投資教育を行なうことを目的として企画した。 (2) 金融ゲームは、本イベントに先行して、平成 27 年 11 月 18 日(水)に、行員研修「生命保険販売前研修」にて平成 27 年度新入行員向けに実施し、好評を得ていた。また、協賛の三井住友アセットマネジメントは、お客さま向けに全国で 3 回の開催実績と今後の開催予定があった。 (3) <u>投資信託を保有するお客さま・未保有のお客さまへ</u>、平成 28 年 1 月より口座開設受付を開始した「<u>ジュニア N I S A</u>」<u>制度の情報提供および利用促進(購入開始平成 28 年 4 月以降)</u>を目的に、セミナー聴講の機会を提供するためにも本セミナーを企画した。 【内容】 (1) 開催日時 : <u>平成 28 年 3 月 13 日(日) 13:00~16:00</u> (金融ゲーム・セミナー同時進行) (2) 名称 : 『大分銀行・ジュニア N I S A × エコノミカゲーム大会 ～ご家族で楽しむ金融ゲーム～』 (3) 会場 : 大分銀行宗麟館 5 階会議室(セミナー会場は 4 階会議室) (4) 参加人数 : 20 組(大人 21 名・子供 20 名[10 才~14 才]) (5) 協賛 : 三井住友アセットマネジメント株式会社(以下、三井住友 A M) セミナー講師同上 【効果】 (1) 当日のお客さまのアンケート結果は、総じて好評であり、本大会の主目的である、<u>若年層・資産形成層世代の取込みによる投信残高裾野拡大</u>および<u>地域密着化における“金融リテラシー”の普及</u>を実現できたと思料する。 (2) 本セミナーの感想《ご参考》 (アンケート回収：大人 20 名 子供 20 名 複数回答・未回答含む) 【大人アンケート】 「エコノミカ『家族で楽しむ金融ゲーム』」 楽しかった:18 名 楽しくなかった:2 名 「ジュニア NISA セミナー」 参考になった:17 名 参考にならなかった:1 名 【子供アンケート】 「カードゲーム(エコノミカ)はどうでしたか？」 とてもおもしろかった:8 名 おもしろかった:5 名 ふつうだった:5 名 むずかしかった:3 名 つまらなかった:0 名 (3) 本イベントは初めての試みであり、本大会の実績(参加状況、費用、開催後の効果)等を検証のうえ、次回開催を検討する予定。 以上

未来は、金融知識を身につけて切り拓く！

3/13(日)
13:00~16:00

大分銀行
宗麟館

無料
事前予約制

30組
限定

ジュニアNISA × エコノミカ

ご家族で楽しむ金融ゲーム

親子で金融経済を学べるセミナーを開催いたします。
経済カードゲームで遊びながら学ぶセミナーに参加してみませんか。

親御さまに

ジュニアNISAを学ぶ

2016年よりスタートした
ジュニアNISAを
分かりやすく解説します。

親子で

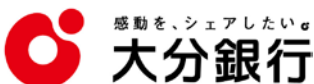
エコノミカで楽しむ

(経済カードゲーム)

金融カードゲームを通じて、
楽しく遊びながら
金融・経済用語を
身に付けられます。

© A.P.F.L. Japan All Rights Reserved

主催



株式会社大分銀行
登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人全国銀行協会

協賛



三井住友アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

エコミカって?

遊びながら金融・経済が学べるカードゲームです。バトルに使うカードの特性を通して理解を深めます。

エコミカの遊び方

- 対戦型のカードゲームで、1回20～30分程度でプレイできます。(目安として10歳以上を対象としています。)
- 「イベント」、「アセット」、「リスクヘッジ」の3種類のカードで構成されています。
- 「イベント」カードで自分の「アセット」カードの価値を上げたり、下げたりして遊びます。また、「リスクヘッジ」カードでイベントの効果を失くすこともできます。

【カードの例】

アセットカード



イベントカード



リスクヘッジカード



エコミカゲーム大会景品 ※2

ゲーム優勝者

(1名さま)



または



杉乃井ホテルレストラン
「ワールドダイニング
『シーダパレス』」お食事券※1

2位

(1名さま)



「水族館『うみたまご』」
年間パスポート※1

3位

(1名さま)



図書GIFTカード
5,000円分

事前予約の方には
エコミカを
プレゼント



エコミカについて
詳しくはこちら

当日使用するものは
当行でご用意いたします。

※1 ご家族分となります。(ただし上限があります) ※2 当日は目録をお渡しし、後日商品を郵送いたします。

大分会場

開催日時 3月13日(日) 13:00～16:00

場所 大分銀行宗麟館5階会議室(セミナー会場は4階会議室)

大分市東大道1-9-1

<http://www.oitabank.co.jp>

先着
30組
限定

申込
無料



お申し込み方法

参加を希望されるお客さまは、下記フリーダイヤルへお電話にてお申し込みをお願いいたします。

大分銀行ダイレクトセンター



0120-849-070

受付時間 平日 / 9:00～20:00(祝日は除く)
土曜・日曜日 / 9:00～17:00

本セミナー開催後、資産運用に関するご提案を行うことがあります。弊行では、お客さまからお申出いただいている投資方針に適した商品を販売することを勧誘方針としていますが、今回のご案内において、現在のお客さまの投資方針に必ずしも適さない場合もあるかと存じます。その場合、商品もしくは取引のリスクをご理解いただいたうえで、また投資方針についてもご理解いただいた場合に限りお申込を受付けいたします。投資方針のご変更を希望される場合におきましても、お客さまのご投資経験など諸般の事情によりお申出いただけない場合もございますのであらかじめご了承ください。



感動を、シェアしたい。
大分銀行

銀行名	大分銀行
タイトル	高齢化問題への取組み：「大分オレンジカンパニー」登録
取組み内容	【経緯】 ・平成 26 年厚生労働省が関係省庁と協働して「新オレンジプラン：認知症施策推進総合戦略」を公表したことを受けて、大分県では平成 27 年度より「<u>大分県認知症施策プロデュース委員会</u>」を設置した。当該委員会への参加要請を受け、当行からも委員を派遣した。 ・大分県では「認知症に関する知識の普及・啓発」について「認知症サポーター養成講座」(以下「養成講座」とする)を推進し、要件を満たした事業所を「<u>大分オレンジカンパニー</u>」として登録することを奨励していた。 ・弊行では、平成 25 年度より「新入行員研修」カリキュラムに「養成講座」を導入していたが、現状では「オレンジカンパニー」の登録要件を満たしていなかったために、既存の役職員に対し「養成講座」の受講を奨励することとした。 【内容・効果】 ・「大分オレンジカンパニー」とは、企業・職域組織単位でその半数以上が「養成講座」を受講した事業所を大分県福祉保健部高齢者福祉課が認定するもの。その役割は、社内の認知症サポーターの計画的な養成及び継続的なフォローアップを実施することと認知症への理解を深める取組みを率先することとされている。 ・平成 27 年 11 月より各地域の包括支援センターから各店舗に講師を派遣いただき、県外も含め全店舗の行員を対象とした「養成講座」を実施した。 ・平成 28 年 2 月に「養成講座」受講済者名簿(1,275 名)を大分県に提出し、<u>登録申請を行い、3 月に「認知症サポーター」が在籍する 101 カ店が「大分オレンジカンパニー」として大分県のホームページに公表された。</u> ・平成 28 年度には、大分県と共催で一般の県民を対象とした「養成講座」を実施することも計画しており、行内外の「認知症」に対する理解の促進に寄与するとともに、「認知症にやさしい企業・団体」としての当行のイメージアップにも効果があったと判断している。 以 上